



SALVATIONIST

とぎのこえ

2022年標語「わたしたちを救われる神」(詩編40編2～4節)

二〇二二年三月十五日発行

明治二十八年創刊

福音版・毎月一日発行

広報版・奇数月十五日発行(除く七月)



陽春号

広報版

2022

March-April

No.2832

2022年 救世軍標語

「わたしたちを救われる神」

詩編 40 編 2～4 節



天使は婦人たちに言った。「恐れることはない。十字架につけられたイエスを捜しているのだろうが、あの方は、ここにはおられない。かねて言われていたとおり、復活なさったのだ。」(マタイによる福音書 28 章 5、6 節)



今年のイースターは
4月17日(日)です



@SArmyJP



SArmy_JP



救世軍
The Salvation Army

きりとり

- 『ときのかえ』購読を申し込みます。
(1年分 1140円。税込、送料別)
- キリスト教についてもっと知りたいです。

ご氏名 _____

ご住所 _____

表紙の写真:(上) 江東小隊 1月の「こども食堂マナ」で。(下) 天満小隊 昨年12月、小隊会館前でクリスマス集会の案内に合わせてバンド演奏と社会鍋アピール。

ときのかえ SALVATIONIST

陽春号 広報版
2022 March - April
NO.2832

もくじ

- メッセージ
「互いに愛し合いなさい」
書記長官大佐補 西村 保 …… 3
- (連載) 聖潔の流れに立つ 第20回
ブレンゲルの生涯と聖潔
中将 吉田 眞 …… 4
- 紙上救霊会
救いの証言 候補生 吉田慎也 …… 5
- 集会報告
クリスマス・セレブレーション・コンサート、初野戦、キッズクリスマスコンサート、年末ユースイベント
…………… 6、7
- 各地のニュース!!
横浜小隊、杉並小隊、関東東北連隊、呉小隊、長野分隊、京都小隊
…………… 8、9
自省館、恵泉ホーム、ケアハウスいずみ
……………10
- 社会鍋による支援
江東小隊、神田小隊、横浜小隊、福岡小隊、名古屋小隊、前橋小隊、社会福祉部、八幡小隊
……………10、11
- YP(青少年部)・ファミリーニュース
呉小隊、神田小隊、関東東北連隊、横浜小隊、祝成人
……………12、13
- (連載) 各地の小隊から 第2回
遠軽小隊
……………13
- 救世軍見解表明
社会道徳に対する救世軍の立場
第6回「現代奴隷制及び人身取引」(4)
- 〈連載・第14回〉
神の呼びかけ～神の民となるために～
(5) キリストの臨在を祝うことへの呼びかけ
……………14
- 救世軍公報/召天記事/克己週間パートナー軍国紹介
……………15
- 2021年 各地の社会鍋アルバム
……………16

互いに愛し合いなさい

書記長官 大佐補 西村 保

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、日本では二〇二〇年一月十五日に、第一例目が検知されました。二年を経過してはいますがまだ先は見えない状況です。第六波では感染者数の増加は急激で、全国の一日の感染者数は今年一月一日時点で四百五十七人だったのが、一月下旬には八万人を超える勢いでした。しかしオミクロン株は重症化しにくいということもあって、大混乱ということではありませんでした。

当初のことを思い出していますが、未知の感染症に皆が戸惑い、マスク、消毒液を買いに走りまわった。挙げ句の果てにはキッチンペーパー、トイレットペーパー、ティッシュペーパーなどの紙類がなくなるのと噂から、ホームセンターのある一角、広いスペースから品物がなくなり、不要な買い溜めは控えてください、と報道されていたことを思い出します。もつと分かち合えたら、譲ることができたなら、あんな混乱はなかったのと思わされますし、どれほどの祝福を受けることができたでしょう。ここに人間の愚かさがあることを思います。

聖書を見ると、神様の完全さと人間の不完全さが示されています。

「そのあなた（神）が御心に留めてくださるとは人間は何ものなのでしょう。人の子は何ものなのでしょう。あなたが顧みてくださるとは。神に僅かに劣るものとして人を造り、なお、栄光と威光を冠としてただかせ、御手によって造られたものをすべて治めるように、その足もとに置かれ

ました。」（詩編8・5〜7）

すべての被造物の中で人間が一番愛される存在として造られました。が、神様にわずかに劣るものであって、完全であるのは神様だけです。人間はその不完全さゆえに、いざという時、コロナ禍でのマスクもそうですが、自分を第一として人のことを顧みられなくなってしまうのです。

そんな不完全なわたしたちに、聖書は次のように教えています。

「わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。これがわたしの掟である。友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない。」（ヨハネ15・12、13）

互いに愛し合うこと―平たく言い換えれば、他人を自分と同じぐらいに大切にすること、自分以上に大切にすることを教えていますが、不完全な人間にとつては大変、高いハードルとなります。

「これらすべてに加えて、愛を身に着けなさい。愛は、すべてを完成させるきずなです。」（コロサ13・14）

聖書は、人間は不完全なゆえに、あなたの足りないところは「愛」をもって完成させることができるから、「愛」を身に着けることをしなさい、と教えています。

わたしたちには、父なる神様の愛が、イエス・キリストの十字架を通して注がれています。ローマの信徒への手紙にそのことが明確に書かれています。「肉の弱さのために律法がなしえなかったこと

を、神はしてくださったのです。つまり、罪を取り除くために御子を罪深い肉と同じ姿でこの世に送り、その肉において罪を罪として処断されたのです。」（ローマ8・3）

罪のないイエス・キリストが、「その肉において罪を罪として処断された」とあるように、わたしたちの身代わりとなって十字架にかかり、わたしたちの罪を赦してくださいました。

さらにローマの信徒への手紙を読み進めると次のようにあります。

「あなたがたは、人を奴隷として再び恐れに陥れる霊ではなく、神の子とする霊を受けたのです。この霊によってわたしたちは、『アッバ、父よ』と呼ぶのです。」（8・15）

わたしたちにイエス・キリストの十字架による救いの恵みが与えられ、さらに神の子とする霊によって神様に向かって「お父さん」と呼ぶことができる特権が与えられました。

しかし現実はどうでしょうか。神様に向かっては親しく呼びかけておきながら、自分の隣りにいる人前にいる人、周りの人が困り果てているのを見ても、知らぬ顔をしているとしたら、分かち合うことなく奪い合っているとしたら、そこには神様の祝福はなく、特権を無駄にしているのと同じになってしまう。

コロナ禍で皆が苦しみ、悩みを抱えています。自分のこととで精一杯かもしれません。聖霊の助けを祈り求め、「互いに」ということに心を向けていきたいと思えます。そこに神様の祝福が用意されているのですから。



連載 聖潔の流れに立つ 第二十回

ブレンダルの生涯と聖潔

中将 吉田 眞



(承前) 一八九二年十月、ブレンダルは中校となり、ニュー・ハンブシャーの地区指揮官となったが、こども各小隊を回り、士官たちに聖潔を説いた。一八九五年には、西マサチューセッツの地区指揮官、一八九六年には、アメリカの救世軍に起こった分裂によって生じた傷を癒す任務を与えられた。詳細を省くが、この傷は、創立者の息子バーリントンの退軍によって生じた傷であった。

この時サムエル・ブレンダルは、救世軍の中に起こった分裂の危機を救うために「救世者の秘訣」という文章を執筆した。「忙しくしている兵士は反抗する暇がない」(“Busy soldiers do not rebel.”)と言って、救世軍の本分である、罪人の救いと霊的成長に専念することを勧めた。これも最初は、『ときのこえ』に、救世者のためのシリーズとして掲載し、これが後に編集されて、『救世者の秘訣』として発行された。一九〇〇年のことである。

一八九七年五月、太平洋沿岸連隊の総務部長の招きを受けて、西部沿岸でのキャンペーンに従事したが、専属の巡回伝道者の必要性を感じ、当時の書記長官ヒギンス大佐に、その旨を勧める手紙を送った。そして、同年の八月、米国防司官ブース・タッカーによって、ブレンダル自身が心霊特務(National Spiritual Special)

の任命を受けた。任命の名称は、まさにブレンダルその人を顕していた。それは、「全米への聖潔の使徒」(An Apostle of Holiness to the nation)(一八九七―一九〇四年、一九一―一九三一年)であり、「世界への聖潔の使徒」(An Apostle of Holiness to the world)(一九〇四―一九一〇年)であった。

ブレンダルは、一九〇四年から一九一〇年まで十二カ国を訪問し、特別キャンペーンを指揮したが、一九一四年、士官学校長として奉仕していたとき、入校式で倒れた。胃潰瘍だった。数カ月の休養を取らなければならなくなった。妻のリリーも、間もなく動脈硬化をおこし、脳腫瘍に侵され、一九一五年四月三日に召天した。六十五歳であった。

一九三一年六月一日、ブレンダルは引退し、同年十月四日、五日の両日にわたってエバンゼリン・ブース指揮のもと引退式がおこなわれた。それから五年後の一九三六年五月二十日、ブレンダルは七十五年の生涯を閉じ、天の御国へ凱旋した。

召天の直前の七十五歳の誕生日の彼の証言は、実に感動的である、

「目はもう見えなくなった。読むこともできないし、書くことも難しくなった。しかし、これらの、身体的な問題を除けば、わたしは健康そのものである。外なる人は滅びても、内なる人は、日々新たにされている。救い主にあつて、わたしは喜ぶ!!」

「聖書も、軍歌集も、読むことができない。大きな損失である。しかし、わたしは、神の恵みによって、損失から益を得、暗闇から光を得るために前進し続ける。」

「あなうれしわが身も 主のものとなりけり……
(Blessed assurance; Jesus is mine. O what a foretaste of glory divine!……) 何という確証!
わたしは一人ではなく、イエスのもの。多くの聖徒と共にあつて、天国を先取りしている。」

ブレンダルの書籍から見る「ブレンダルの聖潔」

ブレンダルの聖潔を一言で表すならば、「実際の生活の聖潔」と言うことができる。

『聖潔の葉』(一八九六年)の「はじめに」に彼はこう書いている。

*「一八八五年一月九日、朝九時頃であった、神はわたしを聖めてくださった。そのときわたしは自室にいたが、その経験をすぐに外に出た。一人の男に出会った。わたしはすぐに神がわたしに何をしてくださったかを話した。次の日の朝、わたしは別の友人に会った。彼にもわたしを受けた祝福について話した。彼は喜びの声を上げ、神を賛美しわたしに言った。あらゆる場所で、全き救いについて説教し、わたしのその経験を証しするようにと強く勧めた。神は、わたしを励まし、助けるようにと彼をお用いになった。そこで次の日、わたしはできるだけだけ明瞭に、明快に、その主題について説教し、最後にわたしの証しをした。」

ブレンダルにとって、聖潔は教理ではなく、実生活と深く結びついたものであったことがわかる。信仰が、神について知ることではなく、神を知る(信頼し従う)ことであるように、ブレンダルにとっては、聖潔は、聖潔について理解することではなく、実際の生活が変革することであった。『聖潔の道』一章ではこう書いている。*「何年前のこと、一人の少女が、聖潔とはなんですか? と問うて来た。わたしは、あなたは癩癩を起こしたことがあるか、と彼女に尋ねた。彼女は、はい、ありますと答えた。わたしは、言った。聖潔は、その癩癩が起きないことである、と。」

また、聖潔は、感情ではないこともブレンダルは、『聖潔の葉』の「はじめに」の中に書いている。

*「あなたは聖潔とは何であるか知っていますか? 一言で言えば、それは純粋な愛です。聖霊のバプテスマとは何であるか知りたいと思いませんか? それは単なる感情ではありません。一晩で消えてしまうような嬉しさのことではありません。(続く)」

*は、筆者訳



紙上救霊会

人生を悔いて死にたくなることがあります。これは、あなただけのことではありません。

ウィリアム・クーパーという人は1773年のある日、精神のバランスを失い、川で命を断とうと思って辻馬車に乗りました。しかし、あたりは深い霧に包まれていて御者は目的地にたどりつけず、やむなく家に戻り、結果的にクーパーの命は助かりました。「神は神秘的な方法で働かれ、御業をおこなわれる」と感じた彼は、その思いを詩に書きました。現在それは「神はふしぎなる」という歌となって『救世軍歌集』11番に収められています。その曲調は太陽の光のように明るく、とても死を決意した人が書いたとは思えません。人の気持ちは変えられることができます。

どうしたら死を願うわたしたちの気持ちは変えられるのでしょうか？ この点について聖書は不思議なことを語りかけています。

「次の言葉は真実です。『わたしたちは、キリストと共に死んだのなら、キリストと共に生きるようになる。』」（テモテニ 2・11）

死にたいと思い詰めるわたしたちに対して聖書は、あなたはすでにキリストと共に死んだのだ、と言うのです。確

かに、もしすでに死んでいるのなら、もう死ぬ必要はなくなるでしょう。しかし、どうしてそんなことがあり得るのでしょうか？

神は、神が定められた神の方法を、神の言葉としてわたしたちに与えてくださいました。それが聖書です。わたしたちが信仰によって神の言葉を受け取るなら、それは必ずそのようになるのです。

今から約2,000年前にイエス・キリストが十字架につけられた時、イエスは他の誰でもないあなたのために死んでくださいました。神は神の方法であなたをイエスの内に結び合わせて、イエスと共にあなたの命を終わらせてくださいました。その結果、あなたの罪・あなたの失敗・あなたの過ち・あなたの後悔・あなたが抱える重荷のすべてにピリオドが打たれたのです。

それだけではありません。イエスは三日目に復活してくださいました。それは、あなたが復活のイエスに結ばれた新しい人生を生きるようになるためです。聖書に「わたしたちは、キリストと共に死んだのなら、キリストと共に生きるようになる」と言われているとおります。

これが神が用意してくださっている神の方法です。あなたは今、あなたの信仰によってそれを受け取る必要があります。そうするなら、今この瞬間から、あなたはイエスと結ばれて新しい人生をスタートすることができるのです。



救いの証言（初野戦での証言より） 候補生 吉田慎也

わたしが救われたのは刑務所の中でした。服役の3年目に教誨師の先生と出会い、聖書を読むようになり、心惹かれる御言葉もありましたが、何か奇跡が起こらなければ、信じることはできないと思っていました。しかし、懲罰房という畳三畳の部屋の中でその奇跡は起きました。

わたしは規律違反も多く、時折、懲罰房に隔離されていました。わたしは以前覚せい剤を使用していたこともあり、そのせいで、禁断症状による体の痛みや違和感に苦しめられており、それは服役して3年が経つ頃でも同じでした。懲罰房では、朝食後、すぐに懲罰の姿勢になります。朝から晩までずっと、壁を見て座っているだけです。その日は暑い日で、わたしは独り言で暑さに毒づきながら、陽の差す方を見ました。するとカンカン照りに照った陽が部屋の中に差して、窓枠と交差し、その窓枠が畳の上にきれいに十字架の影を映し出していました。それを見て、わたしはこの十字架に向かって、「神様、神様が本当におるんやったら、この苦しみから解放してください」と祈りました。この時に、自分で自分を救うことはできないという自覚をもちました。そして、救われるなら、またやり直せるような気もしました。すると、「おるんやったら、ではなく、信じなさい」とささやかれたような気がしましたが、気のせいだと思い、信じることはできませんでした。

そしてその日も夜になりました。「このしんどさに悩まされ続けるなら、もう死んでしまいたい」と思いながら就寝しました。すると、夜中に、「わたしは悪人が死ぬのを喜ばない。むしろ、悪人がその道から立ち帰って生きることを喜ぶ。立ち帰れ、立ち帰れ、お前たちの悪しき道から」とささやかれたような気がしました。エゼキエル書33章11節の御言葉です。それでぱっと目が覚めると、その時、いつもの苦しみから解放されていると気づきました。驚いて、「えっ、そしたら昼のあのささやき、そして今のささやきは、イエス様やったんか」と確信しました。そして懲罰の期間が終わると、教誨師の先生にこの経験を話し、「先生、イエス様は自分の救い主です」と告白しました。すると先生は、ほんまやねえ、ということで、7カ月間の準備期間を経て、刑務所の中で洗礼を受けました。

こうして救われ、しばらく後に救世軍を知り、導かれました。神様は、祈りを通して確信を与えてくださり、わたしを士官学校入校へと導いてくださいました。これまでも、今も、多くの方々を支えられております。御言葉に、「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。わたしを離れては、あなたがたは何もできないからである」（ヨハネ15・5）とあります。わたし自身、イエス様から離れては何もできない者です。これからも神様に従う道を歩んでまいります。お祈りに覚えてくだされば幸いです。ハレルヤ

集会 報告

クリスマス・セレブレーション・コンサート

2021年12月5日(日)午後6時 YouTube ライブ配信

初野戦

2022年1月2日(日)午後2時 YouTube 配信

●クリスマス・セレブレーション・コンサート

2021年もオンラインでのクリスマスコンサートの開催となりました。定刻、ジャパン・スタッフ・バンド(JSB)と全国の戦友有志によるカロル「神のみ子は今宵しも」のリモート合唱から始まり、司会の社会福祉部長石川一由紀少佐が視聴者を歓迎しました。JSBによるクリスマスカロルの演奏が「アヴェ・ヴェルム・コルプス」「ナティヴィティ・スイング」等4曲続き、久しぶりの救世軍ブラスの音色が響きました。

浅野あゆみ兵士(横浜)によるピアノ独奏「オー・ホーリー・ナイト」、中山有太師と中山告氏のリードで戦友有志が歌う「もろびとこぞりて」のリモート合唱の後、

JSBメンバーの石坂清太郎青少年部会計(杉並)が、「2年間、コロナ対策でJSBも練習中止を余儀なくされた。先の見えない不安な状況の中でも、新しい方法で賛美を届けられるように神様は導いてくださり、助け手を備えてくださった。難しい状況の中でも、神様の計画は確実に前進している。クリスマスの喜びの賛美が、多くの人の励ましとなるように祈っている」と証しました。続いて繁田忍書記(名古屋)のボーカル、勝篋隆大尉(士官学校)のギター、宇賀神智曹長(杉並)のウッドベース、江原美果子オルガニスト(渋谷)のピアノとJSBアンサンブルによる演奏「ザ・キャンドル・オブ・ザ・ロード～暗闇は深くて」がありました。

司令官はクリスマスメッセージを事

前収録の動画で語り、クリスマスプレゼントを開けるときの家族の習慣を通して、イエス様が最高の贈り物として世界に来てくださったことの大切さを語り、クリスマスの意味と喜びを伝えました。司会者が社会鍋の紹介とアピールをし、JSBによるカロルの演奏で締めくくられました。

(動画再生回数2,672回<2月10日現在>)



- ①「ザ・キャンドル・オブ・ザ・ロード」のアンサンブル演奏
- ② リモート合唱「もろびとこぞりて」
- ③ 証言をした石坂楽隊員
- ④ JSBの演奏



●初野戦

恒例の初野戦は今年もオンラインでの開催となりました。ジャパン・スタッフ・バンド(JSB)の演奏「聖霊よあらたに」で開会。川口小隊家庭団による大正琴の演奏をバックに、書記長官西村保大佐補が、社会鍋へのご協力の感謝と併せて新年の挨拶をし、コロナのため初野戦を上野公園で開くことができず、オンラインでおこなわれることを説明しました。今年のテーマコーラスがジャパン・スタッフ・ソングスターズの合唱録音によって紹介されました。

吉田慎也候補生が救いの証言(写真右上、5ページに掲載)をし、JSBの演奏に続いて司令官がメッセージしました。サーカスに行くことを夢見ていた少年が、パレー



ドを見ただけで本物と勘違いをし、サーカスの本番を見逃してしまったことの逸話を通して、「誰かが伝えなければ、人生の本当の意味、神様の備えてくださっているあふれる恵みについて多くの人は知ることができない。イエス様こそ救いの主であることを伝えるよう救世軍人は託されている。イエス様は弟子たちに『あなたはわたしを誰と言うか』と問いかけ、ペトロは『あなたこそメシア、キリストです』と答えた。私たちの人生は、創造主である神様との関係を回復しなければ空しいものであり、イエス様はわたしたちが神様の元へ帰ることができるよう、犠牲を払ってくださった。どうかこの方を知り、救いの恵みを受けられるように」と勧めました。(動画再生回数679回<2月10日現在>)

集
会
報
告

キッズクリスマスコンサート

2021年12月19日(日) 午前10時30分 青少年部 YouTube 配信

年末ユースイベント

2021年12月30日(木) 午後8時 青少年部 YouTube ライブ配信

●キッズクリスマスコンサート

12月19日(日) 午前10時30分より「しもべあの大冒険 キッズクリスマスコンサート」が配信されました。このコンサートは、12月11日(土)に杉並小隊を会場に収録されました。収録は、東京地区のファミリー世代を中心に案内し、希望者が参加しておこなわれました。

「しもべあの大冒険」のペーくんとまりちゃんが来場者を歓迎し、次に小池郁美さん(「いっくー」という名前で出演)が賛美をリードしました。続けて、スキット(寸劇)をペーくんとまりちゃん、山谷聖加兵士(渋谷)、石川望ジュニアソルジャー(江東)が演じ、目の前にある大きなプレゼントの箱を一人で開けようとするペーくんと友だちとのやり取りを通し、神様に助けを祈り求め、みんなで力を合わせる大切さ、クリスマスの中心は、わたしたちを愛し共にいてくださるイエス様であることが語られ、神様をほめたたえる時でした。

そして今回の特別ゲスト、キコ・ウィルソンさん(NHK Eテレ「英語であそぼ」5年間レギュラー出演)が登場。英語の歌やクリスマスカール、アクションソングなどを歌い、キッズダンスチームも加わりました。キコ

さんは「幼い時にイエス様を信じたことが一番のすばらしい選択だった。一人ひとりユニークなわたしたちに、神様は夢や願いをくださって



る。神様と一緒にその夢を通して世界を変えることができる」と証言をし、「イエス様によって罪赦され、救われた喜びをクリスマスの時、もう一度覚えよう」と会衆に呼びかけました。そして、最後に出演者全員で「君は愛されるため生まれた」を賛美し、コンサートは終了しました。

会場で参加した子どもたちはもちろん、保護者の中に「英語であそぼ」をご覧になっていた方も多く、すばらしい時間を過ごすことができました。(収録時子ども16人、大人10人 動画再生回数366回<2月10日現在>)



●年末ユースイベント

年末のイベントとしてオンライン集会を企画しました。午後8時から、「ナイト de ライト」を迎えてのオンラインコンサートを、青少年部 YouTube チャンネルでの生配信でおこないました。約1時間、①「きみはそれで素晴らしい」、②「NIJL」、③「すっぽりとまる」、④「悲しみをこえてゆけ」、⑤「光」、⑥「家」、⑦「幸せってなんだろう」、⑧「ポラリス」、⑨「またね」の計9曲が歌われ、希望のメッセージが届けられました。(視聴者27人)

続いて午後9時30分からは「夜更かししたっていいじゃない!」をZoomでおこない、「ナイト de ライト」のドラマー田中満矢師(札幌新生キリスト教会ユースパスター)がゲスト出演。満矢師はショートメッセージで、昨年出版された『いいんだよ、昨日までのこと全部。～心が軽くなる31のアンサー』(いのちのことば社出版)

のことを含めて、「頑張ろうとする自分に、ありのままの自分を愛してくれるイエス様がいることを覚えてほしい」と語りました。続く質問タイムでは5人の青年たちが、それぞれ悩んでいることなどを質問し、満矢師からの丁寧な答えを熱心に聞いていました。(参加者14人)



ひと時も迷わぬよう 進むべき道を照らす

NEWS!! NEWS!!

各地のニュース!!

横浜小隊

●「クリスマスコンサート～神様からの愛の贈りもの～」

2021年12月19日(日)に、前年に続きYouTubeで配信しました。コロナ禍で疲れた心をいやす機会をと、ピアノの浅野あゆみ兵士と、バイオリンの平野悦子さん、チェロの山田健史さんをお迎えし、「アメイジング・グレイス」や「しずけき祈りの」などの賛美歌やクリスマスカロルの演奏が、温かなすばらしい音色で届けられました。徳永幸次郎少佐がクリ



スマスメッセージをしました。「救世軍横浜小隊クリスマスコンサート2021」で検索すると視聴できます。

杉並小隊

●クリスマス慰問

12月12日(日)の午後、近隣の施設にクリスマス慰問をしました。特別養護老人ホーム恵みの家、老人保健施設グレイス、ブース記念病院で、杉並バンドによる演奏とクリスマスのメッセージをお届けしました。去年は訪問ができなかったので、とても喜ばれました。



●「クリスマスイヴコンサート」

12月24日(金)、ゴスペルシンガーのMigiwaさんを迎え、救世軍公式YouTubeによるライブ配信でおこなわれました。勝篔隆大尉の司会で進められ、Migiwaさんのすばらしい賛美と、クリスマスメッセージを通して多くの方々にクリスマスの恵みを伝えました。Migiwaさんと杉並小隊バンドの共演でのクリスマスカロルの演奏もありました。感染防止対策で人数制限のもとでしたが、戦友方に加え4人の新来者がありました。また、このコンサートは、全国のいくつかの小隊で、イブ礼拝のライブビューとして用いられました。



↑飛沫防止シートで感染防止対策をとり、おこないました

関東東北連隊

●新年連合聖別会&交流会

2022年1月9日(日)午前11時よりおこなわれました。コロナ禍のため、高崎小隊会館からインターネット配信(Zoom)で各小隊をつなぎました。聖別会は、連隊青少年部書記細貝信義大尉の司会、武藤映子オルガニスト(高崎)のピアノ奏楽、高崎小隊バンドの演奏で開会。開会祈禱を横山裕次曹長(高崎)が献げ、連隊長藤井健次大佐補が新年の挨拶をし、新成人の山岸有生さん(前橋)と永尾晶仁さん(仙台)、また、桐生小隊士官補佐の成演宇軍国特務曹長(まだ入国ができず、韓国より参加)を紹介しました。今年のテーマコーラスを歌い、祈禱を横山令子家庭団書記(高崎)が献げ、連隊長が「わたしたちを救われる神」(詩編40・2~4)と題して説教

をしました。最後に各小隊の参加者を紹介し、永尾晶仁さんが成人を迎えた感想を述べ、高崎小隊に出席した広田英一書記(浪江)が標語の書道作成の証言をしました。

宮下充貴分隊長(長野)が配信設定の役割を担い、会場と各小隊(長野、仙台、新潟、桐生、熊谷、前橋、佐野、韓国)及び戦友宅を結びました。浪江小隊の戦友は、それぞれ高崎小隊と佐野小隊に出席しました。(参加者78人、自宅参加者4人)

4月10日(日)~24日(日)
♪♪ 救世軍音楽週間 ♪♪

コロナの影響下で忍耐が続く日々ですが、主が与えてくださった音楽によって力をいただきましょう

呉小隊

●「かるが会」クリスマス会

2021年12月24日(金)、野間頼子歓迎軍曹が理事長を務める、介護施設「かるが会」のクリスマス会に参加しました。吉田有大尉のクリスマスメッセージと、楽器の演奏でクリスマスソングをお届けしました。各ユニット(グループホーム、デイサービス、三つのユニット、計五カ所)ごとの開催で、利用者の皆さんとクリスマスをお祝いすることができました。前年は館内放送でクリスマスメッセージをお届けしましたが、開催できたことが喜ばれていました。



野間歓迎軍曹のピアノ伴奏に合わせて、吉田有大尉と輝美大尉がラッパ二重奏をしました

京都小隊

●丹後分隊クリスマス

12月8日(水)、粟飯原順中尉夫妻と西日本連隊長 鈴木智博大尉夫妻は、京都府京丹後市にある丹後分隊を訪ね、木本定治分隊長・美代子兵士夫妻と共にクリスマス礼拝をし、アドベントの喜びを祝いました。イエス・キリスト誕生の聖書箇所を朗読し、カローを皆で歌い、順番にキャンドルを点灯した後、連隊長が「心躍らせる恵み」と題して紙芝居を用いてメッセージをしました。その後、木本夫妻と共に諸永ふよ子さんを訪問し、ミニクリスマスツリーのプレゼントをお届けしました。続いて、兵庫県丹波市の宮本美和子兵士を訪問、一緒にカローを賛美し、久しぶりの会話を楽しんだ後、帰路に就きました。



木本分隊長宅で



多くの方が集った「ブレッシングナイト京都」

長野分隊

●クリスマスサンデー、同友者宣言

12月19日(日)、クリスマスサンデーの集会で、高戸二三男さんの同友者宣言がおこなわれました。オンラインによる6回の学びを経てこの日を迎え、正式に長野分隊のメンバーとして歓迎の拍手を受けました。



高戸さんは8年前より、看板に集会案内のポスターや『とぎのこえ』の掲示、また、「日曜午後カフェ」、「日曜日午後だけの写真展」などの企画をして、会館前を通る人々にメッセージを送っています。

集会では、クリスマスストーリーをたどり、小林雄一兄のギターと宮下弘子ピアニストのピアノによる演奏もなされ、連隊長藤井健次大佐補が「この方こそ主メシアである」と題してメッセージしました。

●「ブレッシングナイト京都」

12月20日(月)、京都小隊会館において、音響会社 エムエージェンシー MAGの主催で、アーサー・ホーランド師のライブトーク集会「ブレッシングナイト京都」が開催されました。東京では定期的に行われていたが、京都では今回が初開催となりました。音楽ゲストは救世軍のオンラインコンサートでもおなじみの Migiwa さんでした。

19時に開演し、最初に Migiwa さんが登場、美しく透き通るような声で、オリジナル曲やクリスマスソングなどをギターを弾きながらのすばらしい賛美。曲の合間にはご自分の信仰を証ししてくださいました。その後、バイクのエンジンの効果音と共にアーサー・ホーランド牧師がステージに進み出て、ユーモアも交えた力強い福音メッセージがスタート。会場には「ミッション・バラバ」の元メンバー、全国で宣教活動をされている井上薫牧師・比呂子夫妻も出席。井上牧師は暴力団組員だったご自身が神様に変えられた証言をしました。

服装も語り口も型破りなアーサー師の、イエス・キリストを本音で語る姿に、多くの方が心を揺さぶられました。トークの終わりにはアーサー師の招きがあり、多くの方が応答、イエス・キリストを救い主と信じたいとの意思表示をした方も数名いました。入場者を45人と限定しましたが、有料(2,000円)にもかかわらず予約が順調に入り、キャンセルになった2席も集会当日埋まるというお恵みでした。大盛況でまさに祝福の夜となりました。(参加者ゲスト・スタッフ含め50人)



NEWS!! NEWS!!

各地のニュース!!



自省館

●外壁・厨房工事

2021年9～12月に、自省館の本館の外壁及び厨房の改修工事がおこなわれました。外壁は明るくリニューアルされ、厨房の床はタイルから防滑加工の材質に代わり、清潔・安全がさらに向上しました。新型コロナウイルスの影響でイベントの中止や見直しも余儀なくされていますが、利用者の皆様の安全と安心、笑顔を第一に、

職員一人ひとりが力を注いでいます。

●府中刑務所からの感謝状

2017年9月からアルコール依存症についての講義を継続している功績を評価され、感謝状をいただきました。これからも講義を通し、アルコール依存症についての正しい知識を伝えることに貢献してまいります。



厨房内の新しい機器。温かいお食事を提供します



恵泉ホーム、ケアハウスいずみ

●2021年度ホームクリスマス

12月17日(金)におこないました。恒例の劇団めぐみ座による「マッチ売りの少女」の演劇を録画したビデオの上映とキャンドルサービスをし、恵泉ホーム顧問の吉田真中将よりメッセージを聞き、クリスマスの特別なごちそうに舌鼓をうって、温かい一日を過ごすことができました。コロナの影響で様々な活動が



劇団めぐみ座の皆さんの熱演

制限されていますが、職員は工夫を重ね、生活プログラムの継続に取り組んでいます。

社会福祉部

●街頭給食 東京では昨年12月～今年の2月まで、週3回、大手町、隅田川、代々木において街頭給食(集団調理は休止し、お弁当の配食)をおこないました。スタッフ自身の感染予防対策の徹底とともに、街頭生活者の方々の健康に配慮し、配布の際の行列、集団ができないよう、一定時間内に自由に食事を受け取るのできるお弁当の交換券給食とし、マスク着用の声掛けを徹底するなど、心をこめて働きを続けました。

八幡小隊

●社会鍋による支援 昨年の暮れも、コロナ禍のため、2年続けて街頭での社会鍋はできませんでしたが、小隊の戦友はじめ、関係者に広く社会鍋のアピールをしたところ、例年並みの支援ができる献金が寄せられました。

今年に入り、障がい者通所施設に作業用裁断機を贈り、市内の母子寮の利用者には、米などの食料支援をしました。コロナ禍にあって、幼児を保育園に預けながら働く母親の中には、休園のため仕事を休むことも多く、経

済的に苦勞している方々が増えている、とのことでした。また、今年も、「フードバンク北九州ライフアゲイン」の働きのための支援金を、理事長原田昌樹師にお届けしました。「フードバンク北九州」では、支援を必要とする子育て世帯への食品支援の働きをはじめ、障がいのある子どもたちのための放課後デイサービス、地域の子どもたちへの学習支援など、様々な働きを展開しています。



アベック作業所へ裁断機を



原田理事長へ



母子寮へ食料品を



母子寮利用者からの礼状が届きました



社会鍋による支援

江東小隊

●こども食堂マナ

昨年12月17日(金)の「こども食堂マナ」は、ピザ100枚とオーガニックドーナツを提供しました。雨の中でしたが多くの方が来場されました。毎回ボランティアの皆様が配布にご協力くださり感謝いたします。今回は「ドミノピザ押上店」様、「ドーナツもり」様のご支援により、サンタクロースからのクリスマスプレゼントとして、無償提供することができました。また他にも多くの団体より食糧支援をいただきました。社会鍋資金によって続けられているこの活動が、コロナの影響下において、たくさん我慢して頑張っている子どもたち、そしてご家庭を少しでも応援できたらと願っています。



神田小隊

●冬季支援品配布

12月21日(火)、千代田区社会福祉協議会を通しての準生活保護家庭への支援品(ハムセット、バウムクーヘン、タオル、マスク等)配布をしました。社協から引換券をお送りいただき、お持ちくださった方々へお渡ししました。



横浜小隊

●冬季給食活動

2022年1月5日(水)に今年の第一回をおこないました。今年も感染対策のためレトルトカレーとご飯2食(合計30食)、寄贈品のヤクルト70本をお渡ししました。1月、2月の毎週水曜日におこなっています。皆さんのお祈りを感謝いたします。



福岡小隊

●冬季給食活動

12月20日(月)、街頭給食及び冬物衣料品・日用品の提供をしました。福岡小隊と天神地区において、街頭生活者の皆様に50食を提供しました。

名古屋小隊

●社会鍋支援

12月16日(木)、特別養護老人ホーム「なごやかハウス」の利用者様にタオルと『ときのかえ』クリスマス特集号、職員の方々にはお菓子をお贈りしました。また、街頭生活者への炊き出しをおこなっているカトリック福信館様に、お米券をお届けしました。

また、児童養護施設の慈友学園には、来春の高校進学予定者3人に、例年どおり自転車をお贈りします。



「なごやかハウス」にて

前橋小隊

●前橋老人ホームとのぞみの家

12月20日(月)、「前橋老人ホーム」(前橋市日吉町)を訪問し、67人の入所者の方々に、靴下を『ときのかえ』クリスマス特集号を添えてお贈りしました。12月23日(木)には、母子生活支援施設「のぞみの家」(前橋市岩神町)を訪問し、ケーキ12個、子ども向けの菓子24個を贈呈しました。両施設とも、その創設にあたり前橋小隊が深く関わっており、交流は今も続いています。



前橋老人ホーム・田邊施設長と



のぞみの家・内藤施設長と



YP (青少年部) ・ ファミリーニュース

呉小隊

●子どもの祝福

2021年11月14日(日)聖別会の中で子ども祝福の時をもちました。毎週ご両親と一緒に出席している澤田ゆりあさんの成長を願い、吉田有大尉がお祈りをしました。

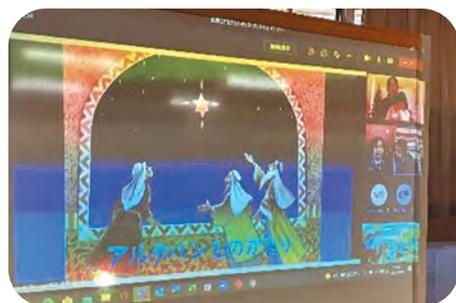


また、感染予防のため出席できなかった、愛光園と豊浜学寮の子どもたちを覚えてお祈りをしました。

関東東北連隊

●クリスマス・キッズ・パーティ

12月18日(土)午後1時～3時、「佐野こどもクラブ」の在所生のみを対象として、佐野と高崎、前橋、仙台小隊をオンラインで結んで連隊主催でおこなわれました。一部の礼拝は藤井千明大佐補の司会、お話は、高崎



小隊から、紙芝居を映像に載せて細貝信義大尉・のぶ江大尉がし、最後のお祈りは、前橋小隊から田口哲也少佐がしました。

二部は、仙台小隊から眞鍋恵中尉と実喜ちゃんが、2つのゲームを導きました。三部のおやつタイムは、玉の肌石嶮の三木晴雄会長のご厚意によるケーキとサントス・ランチ・サービスのでき立てのピザをいただきました。おみやげのクリスマスバッグが参加した子どもたちに手渡され、終了しました。コロナへの対策で、卒所生を招くことができなかったのは残念でしたが、すべてのプログラムをパーティションで感染防止をしながらの静かな集まりとなり、子どもたちは楽しかったと喜んでいました。(参加者37人、職員及び奉仕者11人)

神田小隊

●献児式

12月19日(日)聖別会は、クリスマスサンデーとして、財務管理部長寺澤勇少佐の出陣で守りました。尾崎浩一さん・尚子さん夫妻が出席し、長女の祐梨香ちゃんの献児式が寺澤少佐司式でおこなわれました。ご家族と小隊戦友の見守る中、祝福の時でした。(会衆23人)



横浜小隊

●クリスマスケーキプレゼント

以前から横浜小隊でおこなっていた「パンの実」の集いで、お母さんたちと一緒に救世軍に来ていた子どもたちに、12月24日(金)、サンタさんのプレゼントを渡しました。久しぶりの再会で、子どもたちの成長した姿に喜びがあふれました。また親子で集い、一緒に遊べる日が来るように願いつつ、地域の子もたちが成長しても自由に入出りできる小隊となるよう祈っています。



ユース・セミナー2022

日程 3月11日(金)～12日(土)

テーマ 「WTK!!! ～What the Kazoku!!!～」

神様が導く恋愛・結婚・家族!!!

特別講師：大嶋重徳師・裕香師 夫妻

開催方法：オンライン開催 (ZoomとYouTube)

※詳細は青少年部からの案内をご覧ください

進級を祝う日曜日
日曜学校決心日
4月3日

子どもたちの新生活を祝い、祈って応援しましょう

4月24日(日)
こどもと青少年のための
世界祈禱日

祝*成人*

今年も救世軍各所で新成人をお祝いしました。遠軽小隊：大江等さん、前橋小隊：山岸有生さん、仙台小隊：永尾晶仁さん（8ページに記事掲載）、大森小隊：原 彩江さん、岡田瑛莉さん、清瀬小隊：佐藤瑠さん、富張優花さん、吉田愛実さん、川口小隊：小林聖亞さん、江東小隊：石川望さん、佐々木水鹿さん、名古屋小隊：繁田風さんです。西日本連隊では3人の方が成人を迎えました。お一人おひとりに神様の豊かな祝福がありますようお祈りいたします。

●仙台小隊

1月9日（日）、関東東北連隊新年連合聖別会&交流会にオンラインで参加、永尾晶仁さんの成人のお祝いをしました。記念の聖書とプレゼントをお渡ししました。



皆さん
+ おめでとうございます!

●清瀬小隊

1月9日（日）、市内の成人式を終えた後、佐藤瑠さんとお母さんが小隊を訪ねてください、喜びを分かち合いました。お祈りし、記念の聖書をお渡ししました。



●江東小隊

1月16日（日）の聖別会で、石川望さんの成人のお祝いをしました。フィリップ・マカチェン大尉が祝福の祈りをし、会衆一同も心を合わせ祈りました。



連載

各地の小隊から 第2回 遠軽小隊

小隊士官 眞鍋和枝少佐、眞鍋精一少佐



遠軽町は、オホーツク海沿岸から約20キロぐらい内陸に入った所にある、人口2万人足らずの町です。車で札幌からは道東道と旭川紋別道路の高速を乗り継いで3時間半、飛行機で東京からは、羽田空港～オホーツク紋別空港1時間半と、紋別空港から小隊まで45分、計2時間15分の道程です。

遠軽小隊は、大通り（国道242号）沿いにあり、町の景観としては、お隣の教会（日本基督教会遠軽教会）と2つの教会が大通りに並んで建っているという、日本では珍しい光景が見られます。

遠軽小隊は、大通り（国道242号）沿いにあり、町の景観としては、お隣の教会（日本基督教会遠軽教会）と2つの教会が大通りに並んで建っているという、日本では珍しい光景が見られます。

救世軍遠軽小隊は、来年（2023年）で開戦110年を迎えます。今在籍している戦友の祖父母、曾祖父母に当たる



クリスマスには子どもたちも大勢集いました

先人たちが、多くは山形県から移住して、遠軽小隊の基礎ができました。その逸話は有名で、地域の郷土資料館に展示されています。先達たちが、救世軍を遠軽の地に呼んだのは、自分たちのためにではなく、自分たちの子孫に、子や孫の代に、将来と希望を与えるものを残すためでした。

遠軽小隊の取り組みにおいて大切にしていることは、①家族は、信仰の共同体を形成する最も基本的な基盤であるということです。神の祝福を知るためには、真の夫婦愛、親子愛、兄弟愛、家族愛を学び、人間関係の中心に神の愛を置くことです。

②救世軍兵士は、サーバントリーダーシップを身に着けることです。イエス様が教えられた「黄金律」に倣い、自ら進んで積極的に人に愛を示すこと、人に尽くすことを真に喜び、見返りを求めない謙遜さを学ぶことです。

そして、③遠軽小隊の祈りの課題として、「先達たちが求めた信仰を、取り戻すことができるように」と願い祈っています。



救世軍見解表明

社会道德に対する救世軍の立場

第6回「現代奴隷制 及び人身取引」(4)

(承前) 人身取引は、取引されることに対する需要があるために横行し、同時に、搾取された人々は搾取の状態を余儀なくされています。そのため救世軍は、人身取引及び搾取された人々によって提供される製品やサービスを使用する人々が、これらの製品やサービスを継続的に使うことによって引き起こされる人間の悲惨や苦痛、不公正に直面できるよう、教



育や注意喚起に取り組みます。救世軍は、これからも雇用と購買行動を監視し、そこに搾取がないことを確認するよう努めます。

●**パートナーシップ** 救世軍は、この問題の解決のために、地域及び世界規模で活動する善良な組織が多数あることを知っています。搾取の範囲は多様なため、単一の機関だけで対処することはできません。これらの機関との協働と連携によって、現代奴隷制及び人身取引の撲滅を達成し、回復途上にある被害者に、全人的な支援を提供することを奨励します。



(2018年4月大将によって承認)

〈連載・第14回〉

神の呼びかけ ～神の民となるために～

(5) キリストの臨在を祝うことへの呼びかけ

(承前) この件に関するウィリアム・ブースの信念の強さは明らかです。彼が説明するところの救世軍人たちは、自分たちの生き方を聖礼典としたことは疑いようがありません。彼ら自身がそれを意識していたかどうかは別として。

アルバート・オスボーン大将が書いた表現豊かな賛美「私の生涯はキリストの割かれたパンでなければ」(My Life Must Be Christ's Broken Bread)は、歌うは易く行うは難し、かもしれません。その根底にあるのは、救世軍人が召しに対して真実であろうとする時に確信し、またそのように生きたいと願う、祈りであり意志です。

私の生涯はキリストの割かれたパン
私の愛はキリストの注がれたぶどう酒
主の名と業のもとに
杯はあふれ、食卓は広がり、
私の人生を通して分かち合われる主の命に、
人々の魂は洗われ、養われる

私のすべては主の御手にあり
祝福されるも、砕かれるも御旨のままに
小川のかなたのぶどう酒の絞り場から
私の歩む道は続く
愛が求める分を果たす決意のもと
主のためにすべてを献ぐ

主の恵みを分かちことができるように
地に落ちた種の祝福、
実り豊かな枝の重荷を

主は支えてくださる

聖なる言葉である方と共に死ぬ者は
よみがえり、新たな命を得る

キリストの体は私たちのために割られました。その最大級の愛と救いの業を思い起こすためにどのような形の礼拝をもつにせよ、私たちは主の働きにおいて、主のために、自分たちの生涯を用いるようにと招かれています。献げ、分かち、死に、そしてまた生かされるのです。

創立者の言葉で締めくくりましょう。

「主の、死に至るほどの愛を覚えるため、私たちにできるすべてのことをしようではありませんか。私たちの生活のすべての振舞いは宗教的でなければなりません。毎日を安息日として、聖なる時、神の栄光のために献げる時とし、すべての食事は聖餐の時とすべきです。

形式や儀式のみに注意を払うのではありません。新約聖書を読み、私が語ったことだけに目を留めるのではなく、魂に沈潜させましょう。そして、神の国は力によってもたらされるのではないこと、神の国は飲み食いではないこと、聖礼典や儀式、形式ではなく、また小隊出席、行軍、制服でもないことを覚えましょう。神の国はあなたの内にあるのです。観察することによって、もたらされるのではありません。見たり聞いたりできるものでもありません。本質的な部分はそうはできないのです。外的なものが助けになることはあるでしょう。実際、私にとっては大きな助けです。戦友たちの表情を見ることは、彼らの賛美や信仰、献身的な姿と同様、助けになります。大きな集会において、心がさらけ出され、魂が神への賛美を叫ぶ姿は助けになります。けれども力はそういったことにあるのではないのです。神の国は、聖霊による義と平和と喜びなのです。」

(続く)

救世軍公報

転任(カッコ内は継続任命)

補男子社会奉仕センター付

(週四日) 木村照子少佐

補財務管理部門付(週四日)

田中禎一少佐

補士官学校教官、(兼)杉並小隊

士官

山谷昌子少佐

補北海道連隊長、(兼)札幌小隊

士官、(兼)札幌地区保育園チャ

プレン(兼)レポリューション・ジャ

パン・ディレクター)

石坂臣司少佐

補北海道連隊女性部書記、(兼)

札幌小隊士官、(兼)札幌地区保

育園チャプレン(兼)レポリュー

ション・ジャパン・ディレクター補佐

石坂奈緒美少佐

補(兼)軍国CCM書記(軍国女性

部書記補佐、(兼)人事・教育部付、

(兼)引退士官係、(兼)銀星章書記)

石川芳子少佐

補(兼)岡山・高松チームミニス

トリー士官(泉尾小隊士官)

本村いづみ少佐

名古屋小隊士官の任を解く

齋藤久美子少佐

補(兼)渋谷小隊士官(士官志願

者部長)

勝篋実香大尉

名古屋小隊士官の任を解く

齋藤丈夫大尉

補名古屋小隊士官

加藤直子少佐

補財務管理部門付、(兼)財産部付

勝篋隆大尉

補(兼)士官学校教官(司令官秘

書、(兼)霊的生活成長部長)

中島美和 大尉

補(兼)岡山・高松チームミニス

トリー士官(泉尾小隊士官、(兼)

西日本連隊本部付、(兼)西日本連隊

青少年部書記) 本村大輔大尉

高松小隊士官補佐の任を解く(高知小隊士官)

加茂あづさ大尉

補(兼)広島地区チームミニス

トリー士官(呉小隊士官、(兼)愛光

園施設長補佐、(兼)児童家庭支援セ

ンター明日葉センター長、(兼)呉地

区社会福祉施設チャプレン、(兼)災

害対策室長(臨時)

吉田有大尉

補(兼)広島地区チームミニス

トリー士官(呉小隊士官、(兼)呉保

育所チャプレン、(兼)愛光園チャ

プレン、(兼)呉地区社会福祉施設チャ

プレン)

吉田輝美大尉

補(兼)岡山・高松チームミニス

トリー士官(京都小隊士官、(兼)

西日本連隊本部付)

栗飯原順中尉

補福山小隊士官、(兼)広島地区

チームミニストリー士官

友安渚中尉

補(兼)災害対策室東北地区担当

(仙台小隊士官)

眞鍋道中尉

補(兼)災害対策室東北地区担当

(仙台小隊士官)

眞鍋恵中尉

＊岡山小隊及び高松小隊は、岡

山・高松チームミニストリーと

する

＊広島小隊は、連隊管轄を解き、

広島地区チームミニストリーと

する

＊長沢分隊は、二〇二二年三月

末をもって閉鎖する

(函館小隊、桐生小隊、熊谷小隊、

浪江小隊、佐野小隊、若松小隊、

長野分隊、大森小隊、上野小隊、

川口小隊、西成小隊、鶴橋分隊

は引き続き連隊管轄)

二〇二二年三月二十四日付

司令官

ステイブ・モーリス

＊前号で、ホワイト少佐夫妻の

転任のお知らせをしましたが、

日付の訂正がありましたので、

再度お知らせします。

士官学校長の任を解く

ゲイル・ホワイト少佐

医療部長の任を解く

ピーター・ホワイト少佐

二〇二二年四月二十一日付

二〇二二年一月二十八日発令

＊なお、ホワイト少佐夫妻は、オ

ーストラリアへ帰国。休養後、英国

軍国西スコットランド連隊クライ

ドバンク小隊士官として任命され

る

補(兼)医療部長(軍国女性部書記)

西村和江少佐

二〇二二年四月二十二日付

＊士官学校長の後任は後報

財務管理部門付、(兼)出版供給部主任

の任を解く

荒井ちるみ少佐

二〇二二年二月二十八日付

高松小隊士官の任を解く

木村敏行少佐

二〇二二年三月二十三日付

司令官

ステイブ・モーリス

四十五年永年勤続章

(三月二十一日付) 徳永由美少佐

四十年永年勤続章

(三月二十一日付) 藤井健次大佐補

三十年永年勤続章

(三月二十一日付) 石川節子少佐

二十五年永年勤続章

(三月二十一日付) 寺澤勇少佐

(三月二十一日付) 寺澤真由子少佐

以上

二〇二二年三月二十四日付

司令官

ステイブ・モーリス

以上

寺澤真由子少佐

2022年克己週間募金

3月1日～15日(士官学校は4月)

今年も克己週間を迎えます。イエス様の受難を想起するこの時期、他者の困難、苦しみに思いを寄せ、献げてまいりましょう。日本の救世軍のパートナー軍国から3つの軍国を紹介します。

○ラテンアメリカ北部軍国

救世軍の働きは、パナマ(1904年)、コスタリカ(1907年)、キューバ(1918年)、ベネズエラ(1972年)、グアテマラ(1976年)、コロンビア(1985年)、エルサルバドル(1989年)、ドミニカ共和国(1995年)、ホンジュラス(2000年)、ニカラグア(2010年)でおこなわれている。(カッコ内は開戦年)



コスタリカのホームレスシェルター

現役士官158、引退士官26、候補生18。連隊5、ディストリクト1、リージョン5。小隊65、分隊7。士官学校2

○リベリア・シエラレオネコマンド

1988年、ガーナ・リベリア軍国として活動が開始され、1997年、リベリアはコマンドとして独立。2010年、隣国のシエラレオネで働きが開始された。



現役士官74、引退士官6、候補生12。小隊35、分隊と地域施設30、学校12、病院1

ジュニタ・サンガレさんはリベリア出身→(2021年4月1日号『ときのこえ』参照)

○マラウイ軍国

1967年、マラウイでの活動が開始された。1988年、ジンバブエ軍国の連隊から、ザンビア及びマラウイ軍国に再編され、2002年、リージョンとして独立。2004年にコマンド、2011年に軍国となる。近年、兵士の数は大幅に増加し、軍国は大きな発展を遂げている。

現役士官125、引退士官12。連隊6、ディストリクト4、小隊100、分隊88。地域発展・開発プログラム10



城之内正浩兵士 天に召さる

旧清水小隊長として、長く奉仕された城之内正浩兵士(名誉曹長)が、2021年12月15日、ご自宅にて召天されました。この日は90歳の誕生日で、日付が変わった午前1時過ぎ、ご家族に見守られる中での召天でした。直前まで会話もでき、早めのバースデーケーキも召し上がっていました。

城之内兵士は、10代の頃、お母様の病死や敗戦で、希望のない日々を送っていましたが、野戦で救世軍人に出会い、信仰へと導かれました。小隊で覚えたラッパを吹き、救世軍音楽と、息子さん、お孫さんたちの影響で、サッカーが大好きな方でした。また、83歳まで、現役で水道関係の仕事をし、小隊の水まわりのことにも気を配っていただきました。

告別式は、12月18日、東京東海道連隊長石川和男少佐の司式でおこなわれました。(静清小隊報)

召天
菅井牧子少佐(仙台小隊出身)は、二〇二二年二月四日、召天。
以上
司令官
ステイブ・モーリス

創立者 ウィリアム・ブリス 大將 ブライアン・ペドル (万国本営 英国ロンドン) 日本司令官 スティーブン・モリス (救世軍本営 東京都千代田区) <https://www.salvationarmy.or.jp>

2021年 各地の社会鍋 アルバム



- ①銀座での社会鍋
- ②上野での社会鍋
- ③札幌小隊社会鍋
三越前と丸井今井前の
2カ所でおこなった
- ④大阪・阿倍野での社会鍋
- ⑤福山での社会鍋

3月4日(金) 世界祈祷日

今年は、イングランド、ウェールズ、北アイルランド世界祈祷日委員会が作成した式文をもとに祈りを献げます。テーマは、「わたしは、あなたたちのために立てた計画をよく心に留めている」です。
今年も超教派の集まりは困難な状況が続いていますが、各地で工夫して祈りを献げる機会を設けましょう。

3月11日 東日本大震災から11年

時間の経過とともに、復興や生活の再建状況は変わってきていますが、あの震災で大きな影響を受けた方々を覚えお祈りしましょう

3月20日(日)

士官候補生サンデー

士官候補生のため、また、さらに献身者が与えられるように、祈りましょう！

♪♪イースターコンサート♪♪ (オンライン)

4月17日(日) 午後6時開演

出演 ジャパン・スタッフ・バンド、
ジャパン・スタッフ・ソングスターズ

司会・メッセージ 西村和江少佐

救世軍 YouTube <https://bit.ly/SArmyTube>



酒害強調週間

3月27日(日)～4月2日(土)



お酒は人生に深刻な悪影響を与えます。周りの人にも酒害について伝えましょう

(取扱支部)

発行日及び定価

▼発行日

福喜版・毎月一日発行

広報版・奇数月十五日発行(除く七月)

▼定価

福喜版・一部 四〇円

広報版・一部 一〇〇円

クリスマス特集号(十二月一日号)

一部 一〇〇円

振替・〇〇一八〇五四四〇〇

発行兼 救世軍

印刷人 代表者 スティーブン・モリス

編集人 山谷 真

〒101-0051 東京都千代田区

神田神保町二丁目十七

電話 東京(03)三三七〇八八一

発行所 救世軍本営

印刷所 株式会社ヒーランドエス